

「経営」って何？理論と実証の両面からのアプローチ！

(分野：経営学)

(場所：経営情報1号棟 4階 413号室)

URL <http://mise.nagaokaut.ac.jp/staff/nobutaka-suzuki>

担当教員 鈴木信貴 准教授

メンバー 修士2年：小林・鈴木(孝)

修士1年：酒井・下岡

学部4年：中尾山・福谷・平田

1回当たりのおおよその説明時間

10分

経営戦略・技術経営・ものづくり経営研究室ってどんな研究室？

インドに新たに進出することで新規市場の開拓を図る。新製品を開発し、販売することで利益を上げる。生産現場の改善を続けることで生産性を向上させる。本研究室は、以上のようなテーマについて、理論と実証の両面からアプローチをし、経営の因果関係を解明することを目指している研究室です。

◇ 私が本研究室をオススメする3つの理由。

1. 経営学に興味はあったけど、これまで触れたことがなかった人でも大丈夫！

本研究室では、初めて経営学を学ぶ人も大歓迎です。実際、7人のゼミ生も、高専時代や高校時代は、情報系や電子系、商船系、普通科に所属していました。先生が厳選した文献の輪読や月に1度開かれる実務家の方による講演会などを通じて、基礎から経営学を学べるのが本研究室の魅力の1つです！

2. 基礎から経営学を学べる明るい研究室！

先生は大学院生時代から国内外の経営の現場に即した実証研究を続けてこられた方で、この一連の研究から、これまで日本貿易振興機構のインド事業環境研究会の副座長などを務められてきました。先生は、私たちのレベルに合わせて、基礎からみっちり指導して下さいます。また親身になって様々な相談にもものって下さいます！研究室は、月に一度、先生も交えた食事会などを通じて親睦を深め、毎日明るく、協力しながら研究に取り組んでいます。

3. たくさん学んで、たくさん実践することが出来る環境！

本研究室では、文献の輪読などで勉強を行い、それを実際に実践する目的で、公募論文への投稿、月1回の実務家の方による講演会、企業調査などを行っています。理論を学ぶことと同等に、実証も大切にしているため、生きた経験からたくさんの刺激を得られる研究室です。2015年1月からMK新聞のコラム「グローバルビジネスレポート」にて本研究室の連載を行っているため、興味のある方は、コラムも読んでみてください。MK新聞HP：<http://www.mk-group.co.jp/np/>

■企業調査を行った際の写真

左から鈴木(孝)、下岡、小林、鈴木(信)先生

現場調査風景



担当学生(出身校)：修士1年 酒井(東京高専)、下岡(香川高専詫間)：学部4年 中尾山(香川高専詫間)